

目次

承認	i
審査委員会	ii
表明	iii
要約	iv
前書き	v
謝辞	vi
目次	vii
表一覧	xi
第一章 序論	
A. 問題の背景	1
B. 問題の範囲	3
C. 問題の焦点	3
D. 研究の目的	3
E. 研究の意義	4
F. 用語の定義	5
G. 研究の仮説	6
第二章 基礎的理論	
A. メタ認知	7
B. メタ認知的知識	8
C. メタ認知ストラテジー	9
D. メタ認知ストラテジーにおける教授	13
E. 読むの定義	17
F. クロス技術（完成法のテスト）	19

第三章 研究の方法

A. 研究デザイン	22
B. 研究変数	23
C. ポピュレーションとサンプル	23
D. データ収集技法	24
E. テストの試す結果	26
F. 教材開発	31
G. 研究の段階	33
H. データ収集技術段階	34
I. データを分析の技法	35

第四章 データ分析及び解釈

A. 研究分析	39
B. アンケート調査のデータ分析	44
C. メタ認知ストラテジーを用いる読解活動における教授の過程	49
D. 研究結果の解釈	56

第五章 結論と今後の課題

A. 結論	59
B. 今後の課題	59

参考文献	61
------	----

付表	63
----	----

表一覧

ページ

表 3.1	研究デザイン	23
表 3.2	テストの形	25
表 3.3	評価ガイド	26
表 3.4	妥当性結果	27
表 3.5	信頼性係数の分類	28
表 3.6	相関係数	29
表 3.7	困難レベルの分類	30
表 3.8	困難レベルの結果	30
表 3.9	相違力の特徴	31
表 3.10	相違の結果	32
表 3.11	アンケートのパセント	37
表 4.1	実験前と実験後のテストの結果	39
表 4.2	正常と直線性の試す結果	41
表 4.3	Paired Samples Test	42
表 4.4	読解科目に対する興味	44
表 4.5	読解科目に対する動機を示させる反応	44
表 4.6	読解科目の有益の承認	45
表 4.7	メタ認知ストラテジーを用いて教授に対して興味	47
表 4.8	メタ認知ストラテジーを用いて教授における学生の活動に対して承認 を示す反応	48